



ヒバクシャ地球一周 証言の航海
Global Voyage for a Nuclear-Free World
Peace Boat Hibakusha Project

PEACE
BOAT

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561
FAX: 03-3363-7562
<http://www.peaceboat.org>

2018年8月

第99回ピースボート「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」
おりづるプロジェクト2018
～核兵器の禁止から廃絶へ 市民の力で進めよう～
プロジェクト概要

●概要

NGOピースボートでは、2008年より「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」を行っています。これまでに170名以上の被爆者とともに地球を周りながら、「核なき世界」へのアピールをしてきました。今年度は、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のノーベル平和賞受賞を受けて、「おりづるプロジェクト2018 ヒバクシャ地球一周 証言の航海」として、第98回ピースボート（2018年5月出航）に引き続き、第99回ピースボート（2018年9月出航）でもプロジェクトを実施します。この航海では、ノーベル平和賞のメダルと賞状（公式レプリカ）を携え、被爆者2名（広島2名）、ユース1名が世界21カ国24寄港地を訪れ、証言活動を通して核廃絶を訴えます。

これらの参加者は、日本政府の「非核特使」「ユース非核特使」として活動します。

●趣旨

今回の航海は、「核兵器の禁止から廃絶へ 市民の力で進めよう」をテーマにします。昨年、核兵器のない世界に向けた歴史的な扉が開かれました。7月には国連で核兵器禁止条約が成立し、これに貢献した核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）が12月にノーベル平和賞を受賞しました。市民の力によって、核兵器は違法な兵器となったのです。

しかしそれでも、核保有国はこの現実を受け入れようとしていません。自らは保有しなくても核兵器への依存を続けている国々も少なくありません。

こうした中、核兵器禁止条約に効力をもたせ、核兵器廃絶を実現するためには、核兵器が人間や社会に何をもたらすのかを伝え、広めていくことが不可欠です。それは、被爆国日本の世界的な責任です。過ちを繰り返してはなりません。

●期間

2018年9月1日（土）～2018年12月17日（月） 横浜発着 計108日間
（第99回ピースボート「地球一周の船旅」）

●主催団体

ピースボート

●参加被爆者 2名

塚本 美知子（広島被爆）、空 民子（広島被爆）

●参加ユース 1名

安藤 真子

●後援

広島市 / 長崎市 / 平和首長会議 / 日本原水爆被害者団体協議会
公益財団法人広島平和文化センター / 公益財団法人長崎平和推進協会



ヒバクシャ地球一周 証言の航海
Global Voyage for a Nuclear-Free World
Peace Boat Hibakusha Project

PEACE
BOAT

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561
FAX: 03-3363-7562
<http://www.peaceboat.org>

2018年8月

第99回ピースボート「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」
参加者 略歴

■被爆者



塚本 美知子(つかもと・みちこ)

広島被爆 1934年9月16日生まれ 被爆当時10歳

東京都杉並区在住

広島で被爆した母親の入院先である病院に泊まり込み、救護活動を行ったため被爆。父親は出勤途中、相生橋の上の電車内で被爆。原爆投下から6日目の8月11日に息を引き取った。両親と自身の被ばく体験を伝えるため、1980年代に証言活動を開始。以来、核兵器は二度と使ってはならないと訴え続けている。海外での証言活動も積極的に行ってきた。2010年にはピースボート「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」に参加し、同年ニューヨークで行われたNPT再検討会議に代表団として派遣された。



空 民子(そら・たみこ)

広島被爆 1942年1月24日生まれ 被爆当時3歳

広島市在住

爆心地より1.4キロメートルの自宅で被爆。洗濯をしていた母と、すぐに庭にあった防空壕に避難したため一命をとりとめた。

広島へ来る修学旅行生へ被爆証言を話したり、広島大学の原爆や継承に関わるプロジェクトに関わるなど平和活動に携わる一方、デイサービスのボランティア活動や、趣味の合唱やミュージカルへの出演など活動は幅広い。今回、ピースボートおりづるプロジェクトへは初めての参加。

■ユース特使



安藤 真子(あんどう・まこ)

広島出身、兵庫県宝塚市在住 現在23歳

高校時代、核兵器廃絶の署名や被爆証言を集める活動に関わった。また、ユネスコ青少年平和大使や「第20回 核戦争防止国際医師会議(IPPNW)ユースサミット」議長を務めるなど、精力的に平和活動に関わっている。2018年1月に出航したピースボートにおりづるユース特使として参加し、今回は二度目の乗船となる。現在神戸大学大学院に在学。

※出航時(2018年9月1日)の年齢を記載しています。